

熱中症(疑い含む)患者発生状況について

令和 7 年 10 月 1 日

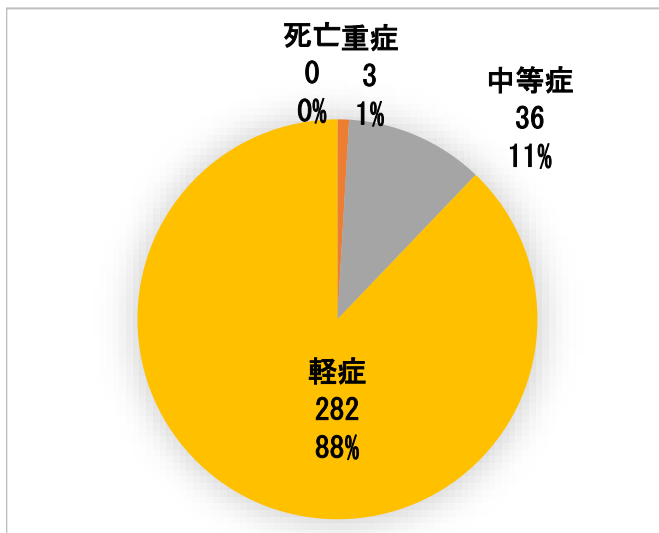
令和7年5月1日から調査開始

(1)熱中症搬送人員

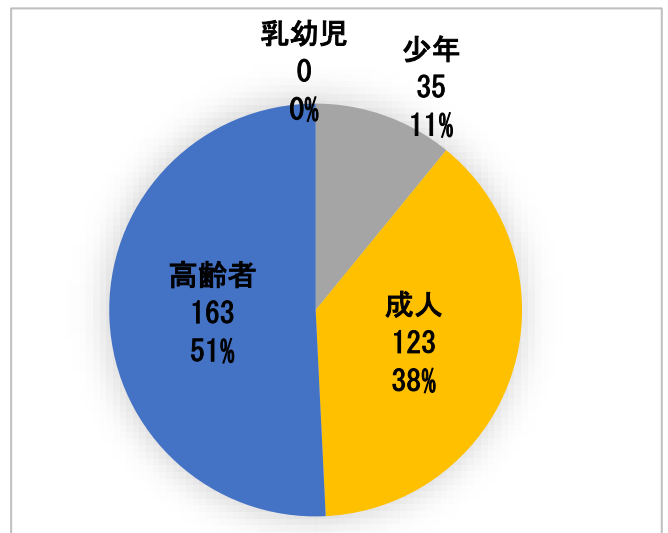
前年比

令和 7 年 5 月 31 日までの搬送人員	7 人	(昨年同時期 3 人)	4
6 月 30 日までの搬送人員	56 人	(昨年同時期 17 人)	39
7 月 31 日までの搬送人員	184 人	(昨年同時期 149 人)	35
8 月 31 日までの搬送人員	298 人	(昨年同時期 258 人)	40
9 月 30 日までの搬送人員	321 人	(昨年同時期 294 人)	27

(2)傷病程度別 搬送人員



(3)年齢区分別 搬送人員



(4)前週の搬送状況(人)

9月29日 (月)	9月30日 (火)						計
0	0						0

全国の熱中症情報については下記URLからご覧ください。

<https://www.fdma.go.jp/disaster/heatstroke/post3.html#heatstroke01>

熱中症に注意してください！

熱中症は予防できる病気です。



熱中症って・・・

室温や気温が高い中での作業や運動により、体内の水分や塩分(ナトリウム)などのバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体温上昇・めまい・体がだるい・ひどいときには痙攣・意識の障害など、様々な症状をおこす病気です。



熱中症予防のポイント

- ☺ 部屋の温度をこまめにチェック！
(普段過ごす部屋には温度計を置くことをお奨めします)
- ☺ 室温28℃を超えないように、エアコンや扇風機を上手に使いましょう！
- ☺ のどが渴いたと感じたら必ず水分補給！
- ☺ のどが渴かなくてもこまめに水分補給！
- ☺ 外出の際は体をしめつけない涼しい服装で、日よけ対策も！
- ☺ 無理をせず、適度に休憩を！
- ☺ 日頃から栄養バランスの良い食事と体力づくりを！

熱中症の分類と対処方法

症状	対処	医療機関への受診
<ul style="list-style-type: none"> めまい 立ちくらみ こむら返り 手足のしびれ 	<ul style="list-style-type: none"> 涼しい場所へ移動 安静 冷やした水分と塩分の補給 	<ul style="list-style-type: none"> 症状が改善すれば受診の必要なし
<ul style="list-style-type: none"> 頭痛 吐き気・吐いた 体がだるい 集中力や判断力の低下 	<ul style="list-style-type: none"> 涼しい場所へ移動 安静 衣類をゆるめ体を冷やす 十分な水分と塩分の補給 	<ul style="list-style-type: none"> 口から飲めない場合や、症状の改善が見られない場合は、受診が必要
<ul style="list-style-type: none"> 意識障害(受答えや会話がおかしい) けいれん 運動障害(普段通りに歩けないなど) 体が熱い 	<ul style="list-style-type: none"> 涼しい場所へ移動 安静 衣類をゆるめ保冷剤などで冷やす 	<ul style="list-style-type: none"> 急いで救急車を要請

判断に迷った時は
救急車を
呼びましょう。

